

平成25年度3月定例議会

一般質問

(2月28日)

★平成25年度はナラ枯れ防止対策計画はあるのか。

県が行っていた駆除事業を町で実施することになり、当初予算に630万5000円計上し、燻蒸処理・更新伐採を計画しています。

★平成25年度の下水处理水改善計画はあるのか。

国・県の動向、近隣市町村の水質改善の対策方法等の様子を見ながら、当面は国の基準に沿って対応したいと考えます。

★高校卒業まで医療費の無料化をしてみてもどうか。

平成20年度より小学生まで、平成22年からは中学生までの助成をしています。
町としては、財政的負担を伴うため、現状の義務教育期間までの助成したいと考えます。

★住民ニーズに合った交通網の整備を。

町にとって最も望ましい交通体系のあり方を研究・協議しながら、改善を図ります。
現在町内のNPO法人が有

校統合を考えているのか。

奥津中学校35名、上齋原中学校17名、富中学校15名、学校までの距離は遠くなり、大変とは思いますが、平成28年4月、鏡野中学校への1校統合を目標に進めていきます。

③第三セクターの今後の経営をどう考えているのか。

地域の振興、雇用を第一に設立されたものと考えています。

それぞれの生い立ちは異なりますが、行政として施設のあり方等を視野に入れながら、側面から支援を検討していきます。

④どのようなまちづくりを考えているのか。

地域の課題を地域の力で見つけ出し、解決に向けて地域の中で話し合い、事業を実施していく。足りない部分を行政が支援していくことで、地域の力がついてくると考えます。

★鏡野町が管理する橋梁の数と管理方法及び新設・増設・改修等の予定は。

橋梁の定義として、河川等に架設され、長さが2メートル以上のものが450橋あります。

管理は随時職員による目視点検を行っています。平成21年度より国の指針により、外部委託による点検業務を開始しています。

橋梁のみの新設予定はありませんが、道路改良に付随する増設・改修は進めていきます。なお、既設の橋梁改修は緊急性により随時対応していきます。

★学校給食について。

①21年度からの収納状況は。

平成21年度調定額6,187万円、収入額6,079万円、未済額108万円。平成22年度調定額6,002万円、収入額5,836万円、未済額166万円、平成23年度調定額6,039万円、収入額5,868万円、未済額171万円となっています。

②未納への対応は。

毎月収納を確認し、封書で学校を通じて保護者に対し督促を行っています。過年度分の未納金は督促または電話でのお願いや、担当職員の家庭への訪問をしています。

③会計処理はどのようにしているのか。

平成23年度までの会計については、当該年度の給食費と前年度繰越金を収入とし、給食物資代として支出する会計処理をしています。

★町道稲荷線について。

①幅員と延長は

役場の北側を東西に延びる線を旧179号線につける町道で、改良する部分は幅員5メートル、延長は300メートルです。

②民間活力で若者の定住の観点から、区画整理をする考えがあるのか。

農地の取得だけでも多額の経費が必要となり、町で取得するのは困難と考えています。

③隣地に町有地があるが、有効利用する考えはあるのか。

現在までに、有効な利用方

法を見いだせていないが、売却も検討したい。

★津山農協の上齋原営業所、富営業所の廃止方針について認識はあるか。

廃止となれば住民生活に多大な影響がでるため、町としては、存続の要望をしていきます。

★昨年役場の窓口で受けた寄付金紛失のその後の進展は。

引き続き捜査がなされている状況で、推移を見守っていきたいと思います。

★町の会計に入らない各種団体の会計を預かるなど、職員が現金または預金管理しているものの把握とチェックはできているのか。

各種団体の事務局を担当する課で把握しています。総会等でそれぞれの協議会等の監査を受けるなど、チェック体制はできているものと確認しています。

★広報紙に町民の意見投稿欄を設けてほしい。

現在の広報紙はお知らせページが大半を占めているのが現状です。

より充実した広報紙づくりを目指して今後リニューアルを検討していきたいと思っています。

★行政不信の払拭としての町の対応は。

真相が究明されることを切望し、町職員の公務員としての倫理の確立に組織的に取り組み、町民の皆様からの信頼を回復するよう、職員一丸となって取り組んでいきます。